

官庁営繕事業

平成27年度		新規事業採択時評価				
事業名(箇所名)	阿南税務署	担当課	官庁営繕部計画課		事業主体	国土交通省 四国地方整備局
		担当課長名	住田 浩典			
実施箇所	徳島県阿南市富岡町滝の下4-4					
事業諸元	<ul style="list-style-type: none"> 敷地: 1,740 m² 構造: 鉄筋コンクリート造 地上3階 規模: 1,361 m² 					
事業期間	事業採択	平成 28 年度	完了	平成 30 年度		
総事業費(億円)	5.4					
計画概要	<p><解決すべき課題・背景> 阿南税務署庁舎は、耐震性能が不足しており、大規模地震時に倒壊や崩壊の恐れがあるが、耐震改修により耐震性能を確保することが困難である。 また、昭和31年建築(築58年)で経年による老朽化が著しいことに加え、これまでの業務拡充に伴う狭あいの対策として、同敷地内に小規模の建物を複数建築し対応してきたため庁舎機能が分散しており、利用者に不便を強いる状況となっている。 このため、早急に新たな庁舎を整備する必要があることから、阿南税務署を整備するものである。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 官庁施設の利便性、安全性等の向上 ・施策目標: 環境等に配慮した便利で安全な官庁施設の整備・保全を推進する</p>					
事業計画の必要性	評点		必要性の主な根拠			
	113点		既存庁舎の老朽、分散及び施設の不備の解消			
事業計画の合理性	評点		合理性の主な根拠			
	100点		他の案では、事業案と同等の性能を確保できないと評価される			
	代替案との経済比較					
	C'-C	-	基準年度:			
		C': 代替案の総費用(LCC)(億円)		-		
		C: 事業案の総費用(LCC)(億円)		-		
事業計画の効果	評点		効果の主な根拠			
	121点		業務を行うための基本機能(B1)に関し、 ・国として用地を保有出来ている ・施設へのアクセスも良好である			
	施策に基づく付加機能(B2)の発揮見込み					
	評価項目	評価	主な取り組み			
	社会性(地域性)	B	・自治体との連携(災害時における一時避難場所としての活用)			
	環境保全性(環境保全性)	A	・事務室等への照明制御の導入による省エネ化 ・太陽光発電による自然エネルギーの有効活用 ・屋上緑化による緑化の推進 ・高性能ガラスの採用			
	環境保全性(木材利用促進)	A	・内装等の木質化 ・自転車置場の木造化			
機能性(ユニバーサルデザイン)	A	・建築物移動等円滑化誘導基準を満たしたうえで、特にユニバーサルデザインに配慮する計画である				
機能性(防災性)	C	・官庁施設の総合耐震・対津波計画基準に基づいた取組がなされているほか、防災に関する一般的な取組が行われている				
その他	入居官署から、経年劣化による老朽化、分散が著しく、また耐震性能不足により、来庁者・職員の安全が確保されていない状況であるため、早急なる庁舎の整備の要望がある。 <第三者委員会の意見・反映内容> 新規事業化については、妥当である。					

施設名： 阿南税務署

事業場所： 徳島県阿南市富岡町滝の下4-4

概要図
(位置図)

